

## 6. 当日の無断欠席について

第99回学術総会において発表時間前までに連絡なく欠演した場合、筆頭演者は次回(第100回学術総会)の一般演題に応募することはできませんのでご注意ください。

## VI. 座長の皆様へ

●原則、現地会場で通常どおり現地で座長をしていただきます。

### 1. 口演発表の座長

担当セッション開始時刻の15分前までに、会場内の次座長席にご着席ください。進行は時間厳守をお願いいたします。一般口演以外の座長で、座長スライドを使用される方は、セッション開始1時間前までの間に「PCプレビューセンター」で手続きをお済ませください。一般口演の座長は座長スライドの使用はできませんのでご了承ください。詳細は「Ⅲ. 口演発表機材とデータ受付について」をご参照ください。

### 2. 紙ポスター発表の座長

担当セッションのポスター発表時間の10分前までに、「紙ポスター受付」(神戸国際展示場1号館, 2号館, 3号館の各館1F)にお越しください。各演者の発表時間は3分間、討論時間は2分間です。進行は時間厳守をお願いいたします。

### 3. デジタルポスター発表の座長

担当セッションのポスター発表時間の10分前までに、「デジタルポスター受付」(神戸国際会議場5F)にお越しください。各演者の発表時間は3分間、討論時間は2分間です。進行は時間厳守をお願いいたします。

## VII. 質疑応答にて発言される皆様へ

質疑応答で発言される方は、口演ではあらかじめ会場内マイクの前に並んでお待ちください。ポスター発表で発言される方は挙手でお知らせください。質疑応答は座長の指示に従い、所属・氏名を述べたあと簡潔に発言してください。質疑応答での発言の際、スライドなどは使用できません。

## VIII. 日整会教育研修単位を取得される皆様へ

### 1. 教育研修単位取得の手続き

(1) 単位取得には1単位につき1,000円(消費税10%を含む)の手数料がかかります。

(2) 学術総会での取得可能単位数の上限は、1日7単位、会期中合計28単位です

オンデマンド配信中の取得可能単位数の上限は16単位です。

現地+オンデマンド(ハイブリッド)の場合、現地+オンデマンドを合計して最大28単位です。(そのうちオンデマンドは最大16単位)

※例：現地で10単位取得済の場合、オンデマンドでは16単位まで取得可能

現地で12単位取得済の場合、オンデマンドでは16単位まで取得可能

現地で14単位取得済の場合、オンデマンドでは14単位まで取得可能

なお、単位数の上限に、第 99 回学術総会参加単位(3 単位)、研修指導者講習会、骨・軟部腫瘍特別研修会の単位は含まれません。

学術総会参加方法	取得可能単位数
現地参加のみ	28 単位
オンデマンド配信期間中の参加のみ	16 単位
ハイブリッド参加 (現地参加+オンデマンド配信期間中の参加)	28 単位 オンデマンド配信期間中の取得単位 (最大 16 単位)を含む

(3) 第 99 回日本整形外科学会学術総会において教育研修単位を取得できる講演は、基調講演、特別講演、理事会提案講演、教育研修講演、招待講演、JOA-AAOS combined program: Instructional lecture, ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナーです。また、指定されたシンポジウムも単位取得が可能です。

(4) 単位を取得するには、受講申込が必要です。受講申込には以下の 3 つの方法があります。

①事前申込

学術総会ホームページから早期参加登録を行った方がのみが、事前受講申込できます。全体の 90%程度を事前申込に割り当てます。ホームページから事前申込ください。

事前申込手続期間：令和 8 年 3 月 4 日(水)正午～5 月 19 日(火)16 時

②会期中申込

学術総会ホームページから参加登録を行った方がのみが、受講申込できます。会場には現金による受付窓口はなくすべてオンライン登録・オンライン決済です。(受講申込は講演開始時間の 10 分前まで)。全体の 10%程度と事前申込残余分を会期中申込に割り当てます。なお、5 月 23 日(土)、24 日(日)の講演については、全体の 5%程度、当日登録枠を設けます。

③会期後(オンデマンド期間中)申し込み

詳細は学術総会ホームページ(<https://www.congre.co.jp/joa2026/>)でお知らせいたします。

下記(5)(6)は現地で単位取得を行う場合のご案内です。

(5) 学術総会終了から一定期間後、演題名を含む受講記録が日整会会員ページ(JOINTS)の「単位振替 未専門医」のページに表示されます。カリキュラム制研修の専攻医は、専門医申請の際にこのページをプリントアウトして他の必要書類と一緒に提出ください。

(6) 講演会場での手続

講演開始前 10 分から開始後 10 分までに、参加章に表示されている QR コードを講演会場入口の読取機にかざして出席登録を行ってください。10 分を過ぎた場合、入場手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。受講手続きを行った講演と実際に受講する講演が異なった場合は、入場時に QR コードを読取機にかざしますと警告音となり、研修単位取得ができませんのでご注意ください。なお、シンポジウムで単位を取得する場合は、入場時だけでなく退場時にも QR コードを読取機にかざす必要があります。

(7) 研修単位受講履歴について

学術総会終了から一定期間後、単位が反映されます。単位の反映時期については、第 99 回日本整形外科学会学術総会ホームページにてお知らせいたします。日整会会員ペー

ジ(JOINTS)の「資格・単位>専門医>単位振替」で単位取得状況をお確かめください。取得した単位で、複数の必須分野等が認定されている場合、自動的に小さい方の分類番号として登録されます。N1, N3, Rが認定されている場合、自動的にN1になります。N3やRの単位として登録したい場合は、「単位振替」から変更してください。

なお、受講された単位が取得可能単位数を超過した場合や同一時間帯での複数受講記録がある場合は過誤データとして扱われます。「単位振替」で超過分などの削除を行ってください。単位反映後3カ月以内にご自身で訂正されなかった場合には、一定のルールに従って機械的に削除されますのでご注意ください。

#### 【不正受講の禁止等】

学術総会等における講演その他の単位を申請する教育研修の受講は、参加者が高度な学識と技能を習得するために必要なものです。さらに、教育研修単位として申請をされている場合は、わが国における専門医制度の運営の基盤となるものです。オンデマンドプログラムを受講する際に閲覧する動画を「早送り」をするもしくは、同じ時間帯に複数の端末等で再生した場合は、記録している「ログ」をもとに、不正受講が行われたと判断します。不正受講は、学術総会等の意義を毀損するとともに、医師としての資質に重大な疑いを生じさせ、専門医制度の円滑な運営に支障を生じさせる行為です。不正受講をした会員に対しては、単位の不認定は当然として、厳正に対処します。絶対にお止めください。なお、一旦教育研修単位の申請をされた以上は、支払われた受講手続費用は返金しません。

#### 【不正受講とみなされること】

1. 講演の初回視聴をスキップ(早送り)してeテストに合格して単位申請すること。
2. 複数のPC・タブレット等で同時に視聴を行いeテストに合格して単位申請すること。
3. 複数のブラウザやタブを用いて同時に視聴を行いeテストに合格して単位申請すること。
4. 視聴前にeテストの設問画面にアクセスして解答すること。
5. 複数講演を同時に受講開始しておき、追って順番に視聴すること。
6. 視聴後、時間が経過してからまとめて解答すること。
7. 他人に視聴あるいはeテストを委託して単位申請すること。
8. その他、本学会、教育研修委員会が不正と判断すること。

#### 【不正行為の予防のために】

##### ・eテスト合格後の単位申請について

講演をすべて視聴した後に、すみやかに設問に解答して、正解(共通講習では80%以上)の場合に限り、申請後に単位が付与されます。

##### ・eテスト解答開始までの時間制限

講演の視聴終了後、10分以内に設問の解答を開始した場合に単位申請を認めます。視聴終了後10分を超えた時間が経過してeテストの解答を開始した場合の単位申請は認めません。

##### ・eテスト解答時間の時間制限

解答時間には制限を設けます(領域講習(設問1題、5択形式)は30分以内、共通講習(設問5題、5択形式)は60分以内)。視聴後、「視聴終了」ボタンをクリックしたら、すぐに回答を

始めてください。一度クリックされますと取消しができませんので、制限時間内に必ず回答してください。超過した場合、理由の如何を問わず単位取得は認められません。

- ・初回の早送りや視聴時間の短縮をした聴講による単位申請を認めません。
- ・複数講演の同時視聴あるいはローディングした聴講による単位申請は認めません。
- ・不正受講と認定された場合でも返金はいたしません。
- ・オンデマンド配信の一時停止機能の時間制限

聴講時に一時停止を認めます。ただし、一時停止の上限は累計(停止回数は問わない)で24時間とし、それを超えた場合には再受講をしなければなりません。

### 【特例措置】

子育て中の医師については、特例措置を設けます。申請は、日整会会員ページ(JOINTS)の「eラーニング> eラーニング> 特例措置申請」にお進みいただき、【新規登録】を選択後、申請事由等の入力、母子保健手帳の表紙と1ページ目の写しあるいは障害者手帳の写しを添付し、申請してください。審査後認可された医師に限り、解答時間開始および解答時間の時間制限、一時停止時間の上限を設けません。

特例措置期間は1年間としますが、再申請により延長を可能とします。なお、母子手帳の「子の氏名」部分は伏せてください。また、健常児の特例措置の適用は、未就学児のみとします。

### 2. 学術総会参加単位の取得(整形外科専門医の先生方へ)

学術総会参加単位は、参加登録を行うと単位反映の際に自動で登録されます。日本専門医機構認定整形外科専門医の学会参加単位は5年間で6単位まで認められます。日整会会員ページ(JOINTS)には、オンデマンド期間終了後に反映いたします。

	学術総会 参加単位
専門医認定資格を得るための研修期間の会員	—
日本専門医機構認定整形外科専門医	3単位

## Ⅸ. 他学会の単位取得について

いくつかの講演が日本手外科学会、日本リハビリテーション医学会の単位として認定されています(詳細は41-57頁をご参照ください)。受講する前に必ずオンラインにて各学会の「単位受講申込」を行ってください。

本学術総会に参加することで日本リハビリテーション医学会、日本リウマチ学会、日本骨粗鬆症学会の単位が認定されます。単位取得の手続きについては、各学会事務局へお問い合わせください。なお、会期中に産業医の単位を取得できる講演はありません。

## X. 第72回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍特別研修会の開催について

本学術総会において、骨・軟部腫瘍取扱いについての特別研修会を以下の要領で開催いたします。この特別研修会の受講により専門医試験の受験申請に必要な腫瘍の単位1単位が取得できません。

- 内 容 : 「軟部腫瘍の診断と治療」  
司会 堀内圭輔(防衛医科大学校整形外科学講座)  
講師 中田英二(岡山大学学術研究院医歯薬学域生体機能再生・再建学講座(整形外科))
- 日 時 : 令和8年5月24日(日) 13:25～14:25
- 会 場 : 第10会場(神戸国際会議場 メインホール)
- 対 象 : 未専門医(今後、専門医試験を受験予定の方)
- 定 員 : 692名
- 受講方法 : 日整会会員ページ(JOINTS)から、2026年3月の会告をご確認ください。本研修会の受講には、本学術総会の参加登録が必要です。  
オンデマンド配信期間中の受講も可能です。

## XI. 第41回 日本整形外科学会研修指導者講習会の開催について

- 内 容 : 1. 「学生が整形外科を選ぶ瞬間 ―卒前・卒後をつなぐ指導医の教育技法―」  
講師 鳥居暁子(慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター・整形外科)  
「医学教育学と医学教育研究」  
講師 錦織 宏(名古屋大学総合医学教育センター)
2. 「プロフェッショナルリズムの教育」  
講師 北村 聖(地域医療振興協会)
- 日 時 : 令和8年6月15日(月) 正午～7月8日(水) 16時
- 会 場 : オンデマンド配信のみ(現地では開催いたしません)
- 対 象 : 日整会研修施設の指導責任者またはこれに準ずる方
- 定 員 : なし
- 受講方法 : 本講習会の受講には、本学術総会の参加登録が必要です。会期終了後、オンデマンド期間中に受講をお願いいたします。

## XII. 第10回 日本整形外科学会小児運動器疾患指導管理医師セミナーの開催について

- 日 時 : 令和8年5月24日(日) 14:40～15:40
- 会 場 : 第10会場(神戸国際会議場 メインホール)
- 内 容 : 「こどもの運動器診療の実践と注意点」  
座長 高橋 淳(信州大学医学部運動機能学教室)  
講師 岡 佳伸(日本バプテスト病院整形外科)
- 対 象 : 医師
- 受講料 : 公益社団法人日本整形外科学会会員1,000円(消費税10%を含む)  
会員は本学術総会の参加登録が必要です。受講する前に必ずオンラインにて「受講申込受付」を行ってください。

その他 : 本セミナーを受講すると小児運動器疾患指導管理料の算定が可能となります。  
オンデマンド配信期間中の受講も可能です。

### XIII. Award 受賞者などのご紹介

#### 1. 日本整形外科学会奨励賞受賞者(令和7年度)

後藤篤史(岐阜大学)

「PI3K/Akt シグナルは Scx 陽性腱細胞と Tppp3陽性腱鞘滑膜細胞を制御して新生児の腱再生を促す」(S648 頁)

長谷川延彦(順天堂大学)

「DNA 脱メチル化薬は滑膜肉腫前臨床モデルに対して抗腫瘍効果を示す」(S648 頁)

玉井孝司(大阪公立大学)

「片開き式頸椎椎弓形成の固定椎弓数削減法は全椎弓固定と比して非劣性である —多施設ランダム化比較試験術後2年時結果—」(S649 頁)

山田勝久(北海道大学)

「腰椎椎間板ヘルニア患者に対する高純度硬化性ゲルを用いた探索的臨床試験」(S649 頁)

令和7年度日整会奨励賞受賞者については、日本整形外科学会奨励賞受賞者講演(5月23日(土) 8:00~9:00 第6会場)でご発表いただきます(所属は研究時)。

#### 2. HKOA(Hong Kong Orthopaedic Association) Ambassador

Gloria Yan Ting Lam (Dept. of Orthop. and Traumatology, Alice Ho Miu Ling Nethersole Hosp., Tai Po, NT, Hong Kong / Dept. of Orthop. and Traumatology, The Chinese Univ. of Hong Kong, NT, Hong Kong)

Factors affecting cementless femoral stem alignment in DAA hip arthroplasties: A review of 100 cases (S705 頁)

日整会と香港整形外科学会が毎年相互に派遣しています。HKOA から演者をお迎えし一般演題口演(英語)64(5月23日(土)10:30~11:30 第9会場)でご講演いただきます。

#### 3. JOA Congress 2026 Travel Award

Prihantini Prihantini (AI-BioMedicine Research Group, IMCDS-BioMed Research Foundation, Jakarta, Indonesia)

Elfiany Syafruddin (Computational Science Research Lab., BLK Muhammadiyah Univ., Bulukumba, Indonesia)

Cholavech Chavasiri (Dept. of Orthop. Surg., Faculty of Medicine, Siriraj Hosp., Mahidol Univ., Bangkok, Thailand)

Shahzaib Riaz Baloch (Dept. of Orthop. & Spine Surg., Dr. Zia Hosp., Karachi, Pakistan)

Sitanshu Barik (Dept. of Orthop., AIIMS, Nagpur, India)

Nakarin Nimpisut (Dept. of Orthop., Institute of Medicine, Suranaree Univ. of Technology, Nakhon Ratchasima, Thailand)

Scott M. Bolam (Dept. of Orthop. Surg., North Shore Hosp., Auckland, New Zealand)

Ruikang Guo (Dept. of Orthop. Surg., North Shore Hosp., Auckland, New Zealand)

Chun Cheng Lin (Division of Trauma, Dept. of Orthop., Taipei Veterans General Hosp.,